

住人十色

第 122 回

夢をあきらめない—— 強い思いで切り開いた舞台への道

高本 晴香さん(21) 〓中川西〓



◎「多くの人が妹のように接してくれて幸せ。甘えるだけでなく、しっかりとした大人になりたい」と笑顔を見せる高本さん。

高本晴香さんが今年1月、三浦春馬さん主演の舞台「罪と罰」で舞台俳優としてのデビューを果たしました。大島優子さんの妹役のオーディションに合格したという高本さんは「今でも信じられない。一生分の運を使ったかも」と笑いながら、「まだ夢の途中。毎日舞台に立てるようになって、たくさんの人を感動させられる舞台俳優になりたい」と思いを語ります。

「夢があるなら、あきらめないで自分で行動してみて」と子どもたちにアドバイスする高本さん。自身も舞台を学ぶ専門学校への入学を、親から反対されていたそうです。「将来を心配してくれていたけど、あきらめなくなかった。内気だった私が、夢への思いを伝えたり、親を専門学校に連れて行ったりして説得した。あのとき行動できたことがすべてのきっかけ」と振り返ります。「今は好きなようにやりなさい、と背中を押してくれる。私自身も変わった」とにっこり。

最後に高本さんは「小田が大好き。いつも温かく見守ってくれる地域の人たちに感謝している。ふるさとを守ろうと頑張っている若者も多くて、素敵だなと思った。私が舞台俳優として活躍することが地域への恩返しになると信じて、これからも頑張りたい」と目を輝かせました。

編集 幸記

▽特集の写真撮影のため、朝4時半に立川の鎌倉山へ。雨の予報でしたが奇跡的に雲海と朝日が同時に見られ、普段私が熟睡中の内子町はこんなにきれいなかと感動しました。これから少し早起きしようかな(裕)
▽大正から令和まで生きた祖父が他界しました。もっというんな話を聴いておけばと、後悔しています。日本人の8割以上が戦後生まれの今、後世に残すべき記憶が失われつつあります。改めて、広報の役割を考えるきっかけになりました(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

